

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

銀色の我等はみんな元気なり

シルバー世代ここにありけり

●宮古市 太田屋滋

夕映えに近くに見える立山の

黒部のダムに日が沈みゆき

●越谷市 山杉道雄

古稀過ぎて輪廻の不思議押し寄せる

連なっている過去から今へ

●朝霞市 林 則雄

がんばれよ背戸の裏山手でメガホン

帰れぬ孫へせめてエールを

●松戸市 秋元輝美

コロナ禍で人と人とのつながりの

「心の絆」温もりもらふ

●小金井市 飯田勝巳

霜月の富士の姿も衣更え

白いドレスが眩しい気品

●狛江市 根方一吉

禍のコロナウイルス年越で

新年早くワクチン期待す

●羽村市 中 新一

雑煮餅分け合ふやうに生きている

それでも密は避けねばならぬ

●明石市 小田和子

冬深しコロナ禍に多々派遣切り

そんな仕事の薄さに嘆く

●明石市 小田慶喜

俳 句

うすれゆく枯野の夕日風荒し

●本庄市 長谷川千鶴子

風揚げや親子並んで土手の上

●草加市 長谷部禎子

なで肩の友は着物で初参り

●戸田市 篠崎志津子

亡き妻に重なる南十字星

●戸田市 清水久雄

手不足をシルバー隊が加勢する

●埼玉県嵐山町 大澤良江

外套や良きこと有つて暖かし

●立川市 浅見 眞

初春や孫の寝顔に目を細め

●平塚市 田中博由

咳き込みて待ち合ひ室は俺一人

●塩尻市 大家協治

天空の深き碧さや雪穂高

●塩尻市 奥原光夫

向きおうておでん大根琥珀色

●塩尻市 小野正平

宿り木の目立つ社や山眠

●塩尻市 永原良子

ざわざわと湖波寄せくる寒昂

●塩尻市 町田まさ子

無住寺の屋根の崩れや冬ざるる

●可児市 井戸和秋

孫六の刃先鋭し寒の月

●焼津市 松永文雅